

わがまちの 「ちよつといい話」

NO. 18

「道徳のまち笠松」推進会議
(笠松町教育文化課)

○ポイ捨て「ゴミ」

への挑戦！

「きれいなまちづくりワークショップ」の結果、まずポイ捨てごみを取り除こうと、九月十三日（日）に「ポイ捨てゴミゼロ」を

実施しました。堤防道路沿いの円城寺集会所前、神明神社前、トンボ池駐車場、東海北陸自動車道高架下の四ヶ所に二百五十名を超す方々が集まりました。日曜日で、いろいろな予定のある中、「ポイ捨てゴミゼロ」に自ら取り組みようと集まった方々に脱帽です。

○みんなで取り組む力！

午前八時、ごみ拾いを開始。わずか三十分〜四十分くらいの時間で、四ヶ所に集積されたポイ捨てゴミは、トラック二台分にのぼりました。そのうち、燃えるごみが全体の七割です。残りが、缶・

みんなで取り組む ポイ捨てゴミ ゼロ！



ペットボトル・ビン等でした。粗大ゴミはトラック一台分に達しました。また、米野の東海北陸自動車道の高架下では、ポイ捨て予防のために、道路脇の草刈や、雑木の伐採も行われました。みんなで取り組む力は絶大です。

○我々の出したゴミか？

参加された方は「この道路に捨てられているゴミは我々のものではない。しかし、私たちの生活している場がゴミで汚れたままなのは恥ずかしい。今日だけに限らずみんなで取り組みたい。」と話された。

みんながこの地域で共に生きるために、**地域に関心をもち、地域の取り組みに参加する。**それが、地域での人のつながりを強め、地域の一人としての役割を果たすことになる。

○参加者の心！

自分たちが出したゴミではないが、ゴミを放置しておいてはいけない。生活する場所をきれいにしたい。われわれの生活する場所だ。そんな気持ちで、皆さんが参加されました。

この地域のきれいを自分たちで守ろう。なんとかしなくてはという思いが強くなる伝わってきました。



ポイ捨てゴミゼロの取り組み
(神明神社周辺)